

第1回 函館港港湾脱炭素化推進協議会 議事概要

日時:令和6年12月18日(水) 13:30~14:20

【協議事項】

○協議会成立の要件の確認

→構成員32名中30名の出席が確認されたことから、規約第5条第4項に基づき、協議会が成立したことを確認した。

○会長の選出

→函館港港湾脱炭素化推進計画は、函館市地球温暖化対策実行計画との調和が求められていることから、規約第4条第3項に基づき、事務局から、函館市環境審議会の会長でもあり、学識経験者として参画いただく北海道大学名誉教授の三浦汀介氏を推薦し、構成員から承認された。

○協議会の取組みの方針について

→(資料2)事務局案について承認された。

【主な意見・コメント等】

- ・船舶を所有していることから陸上電力供給設備について、関心がある。今後は導入におけるCO2削減量など定量的な情報等をいただきたい。
- ・港湾脱炭素化は今後、国内外で想定される温室効果ガスの排出量取引とも関係してくるので、世界から選ばれる港を目指すべきだ。
- ・他の港湾でも様々な取組みが行われているが、函館ならではの工夫で、函館らしいカーボンニュートラルポートを目指すのが良いのではないか。
- ・将来的に合成燃料をバージ船等で供給することなどを想定した場合、(需要創出による)コスト削減にあたり他の港湾との連携も期待したい。
- ・函館らしさという意見があったが、他の港湾に無い設備等を活用した事業モデルやインフラ整備等について今後検討したい。
- ・脱炭素化に取り組むことによる設備導入や新たな燃料等に対しての価格転嫁を単純に消費者に求めることは難しいので、この部分を今後誰が負担するのかも課題と考えている。

【その他】

○今後の開催予定(案)

→事務局から(資料3)について説明が行われた。